



記者発表日

平成30年10月31日

 ■同時発表先：鳥取県政記者会
 中国地方建設記者クラブ

新技術・新工法の普及、活用を図るため、 建設技術開発交流会（鳥取県）を開催します

最先端の建設に関する技術を扱う民間の技術者『産』、大学や高専の先生『学』、行政担当者『官』が、新技術・新工法、CIM（Construction Information Modeling / Management）や防災対策等についての発表を通じて、一般の方を含む多くの方が建設技術の情報を共有することを目的とした「中国地方建設技術交流会」を開催します。

■日 時：平成30年11月7日（水）10：00～16：15

■場 所：とりぎん文化会館（鳥取県鳥取市尚徳町101-5）

■開催内容：詳細なプログラムは、次頁のとおり。

■主 催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会※

■備 考：・事前申込み手続きは不要、入場無料です。

・受付は9時30分から行います。

・全て公開で実施し、撮影は可能です。

・取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先までご連絡いただきますようお願いいたします。

※「中国地方建設技術開発交流会 実行委員会」は、中国地方の5県・政令2市、国土交通省中国地方整備局、公益法人等21団体の計29団体で構成されています。

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所



総括技術情報管理官 田村 実

防災・技術課長 佐藤 勝利 【担当】

住 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340（代表）

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

中国地方建設技術開発交流会

安全・安心で豊かな暮らしの実現を目指して

～社会資本の戦略的メンテナンスと生産性向上及び防災・減災への取り組み～

2018

**鳥取県
会場**

開催日 平成30年**11月7日**(水)

場所 **とりぎん文化会館**
鳥取市尚徳町101-5

入場無料

事前申込不要

CPD取得

タイムスケジュール

10:00	開会挨拶	鳥取県 県土整備部 次長 草野 慎一
10:05	基調講演 これからの防災・減災とは何か -地域防災力の向上を目指して-	鳥取大学大学院 工学研究科 教授 黒岩 正光
10:55	特別発表 CIMの実現に向けた3次元データの流通と利活用	国土技術政策総合研究所 社会資本情報基盤研究室 研究官 寺口 敏生
11:35	道路ネットワークの冗長性指標に関する一考察	鳥取大学大学院 工学研究科 准教授 土屋 哲
12:00	休憩 (昼 食)	
13:00	都市再生整備計画事業(水木しげるロードリニューアル)における3D-VRを援用した計画設計手法の導入による生産性の向上の取り組み	鳥取県境港市建設部 水木しげるロードリニューアル推進課 課長 灘 英樹
13:25	ASRIに配慮した電気防食工法の開発	鳥取大学大学院 工学研究科 教授 黒田 保
13:50	山岳トンネルにおける大容量・高性能吹付けコンクリートの開発と現場展開について	【日本建設業連合会】(株)安藤・間 先端技術開発部 土木技術開発グループ 天童 涼太
14:15	休憩	
14:30	長寿命化アスファルト舗装 「リラックスファルトHT」	【日本道路建設業協会】大成ロテック(株) 中国支社 技術室 中塚 将志
14:55	ICT活用例 -海中作業の「見える化」を可能にした施工事例-	【日本埋立浚渫協会】五洋建設(株)中国支店 土木部 百瀬 泰彦
15:20	斜面防災施設の維持管理技術	【全国特定法面保護協会】ライト工業(株) 技術営業本部 営業企画部 杉井 良平
15:45	ICT技術におけるSEEDフォーム工法の活用と事例紹介	【全国コンクリート製品協会】日本興業(株) 土木資材事業部 細川 恭平
16:10	閉会挨拶	中国地方整備局 中国技術事務所長 堀江 豊

※やむを得ず開催内容に変更が発生する場合は御承ください。

※昼食は各自でお願いします。

主催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会
 構成団体：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、岡山市、広島市、国土交通省中国地方整備局
 (公財)鳥取県建設技術センター、(公財)島根県建設技術センター、(公財)岡山県建設技術センター、(一財)山口県建設技術センター、
 中国土木施工管理技術士会連合会、建設業協会中国ブロック協議会、(一社)中国建設弘済会、(一社)日本建設業連合会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)日本橋梁建設協
 会、(一社)フストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一財)日本建設情報総合センター、(一社)日本建設機械施工協会、(一社)全国コ
 ンクリート製品協会、(一社)日本鉄鋼連盟、(一社)全国特定法面保護協会、(一社)日本道園建設業協会、(一社)全国道路標識・標示業協会、(一社)建設電気技術協会、
 (一社)日本埋立浚渫協会
 事務局：国土交通省中国地方整備局中国技術事務所
 共催：(公社)土木学会中国支部、(公社)地盤工学会中国支部、(公社)日本技術士会中国本部
 後援：(公社)日本コンクリート工学会中国支部

中国地方建設技術開発交流会は下記団体の継続学習制度(CPDプログラム)の認定を受けています。(順不同)
 (一社)全国土木施工管理技術士会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(公社)日本建設業協会、(一社)日本建設技術協会

建設系CPD協議会に加盟する下記団体については、CPD単位相互承認制度をご利用ください。(順不同)
 (公社)空気調和・衛生工学会、(一財)建設業振興基金、(公社)地盤工学会、(一社)森林・自然環境技術者教育会、(公社)土木学会、(一社)全国地質調査業協会連合会、
 (一社)日本埋立浚渫協会、(公社)日本技術士会、(公社)日本道園学会、(公社)日本都市計画学会、(公社)農業農村工学会、(一社)交通工学研究会、(一社)全国
 上下水道コンサルタンツ協会

※午後からのみ等、途中からの参加ではCPD単位を取得できませんので、予めご了承ください。

